

授業評価：私の場合 (文化人類学)

社会科学研究室 伊藤義之

毎年、年度の最後に行なっている授業評価アンケート。今年は報告が遅く、もう前期が終わろうとしているこの時期になってしまいました。昨年（1998年度）協力してくれた学生の皆さんに感謝の意味も込めて発表します。

【授業の形式】

文化人類学は4クラス担当しています。どのクラスも通年の授業を前、後期に分け、前期は講義、後期はディスカッション形式にしています。成績は前期の終わりに行なう試験が50点満点です。このテストの点数の上に、後期は毎週発表すればするほど点数が加算累積されて行くシステムで、学生はいつも自分の点数が分かります。1回の授業で毎回最高で8点取れますから、きちんと授業に出て発表をすれば百点やAの成績は簡単に取れるしくみです。

【アンケートの形式】

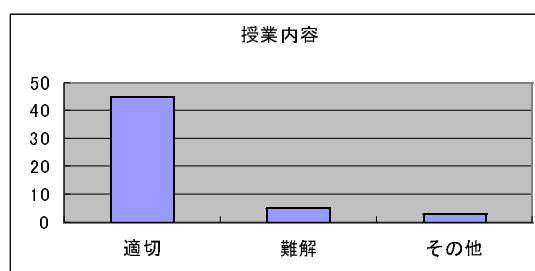
最後の授業時に授業評価をしてもらいます。上記のような方法で成績はすでに出ており匿名ですから、出来るだけ批判的に答えるように言って、やってもらっています（でないと、どうも学生は教師にへつらう傾向があるように思います）。全体の回答数は53名でした。アンケート結果の、選択肢のあとのカッコ内の数字は実数です。

【アンケート結果】

(1) 授業内容について

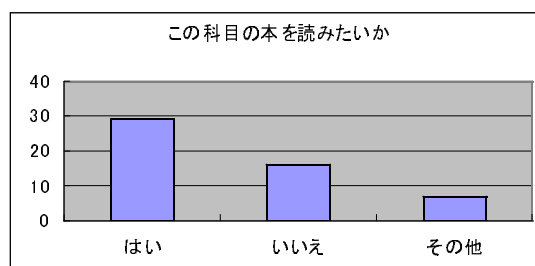
- 内容の分かりやすさはどうでしたか。

適切（45）、難解（5）、その他（3）



- これからもこの科目の関係の本を読みたいですか。

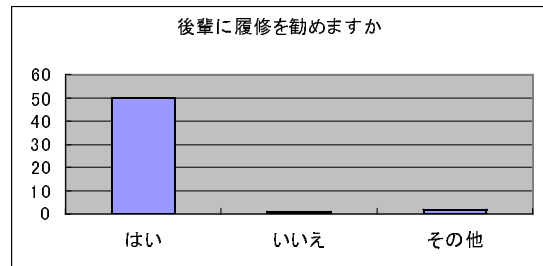
はい（29）、いいえ（16）、その他（7）



■内容の上から後輩にこの科目の履修を勧めますか。

はい（50）、いいえ（1）、その他（2）

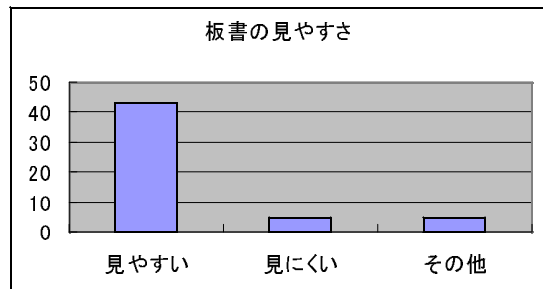
（感想）内容の分かりやすさと後輩に勧めるかどうかについては、前年の調査よりも好意的な回答が増えました。受講生が今年増えたのはそのせいでしょうか。実はちょっと増えて過ぎて困っています・・・。



（II）授業の進め方について

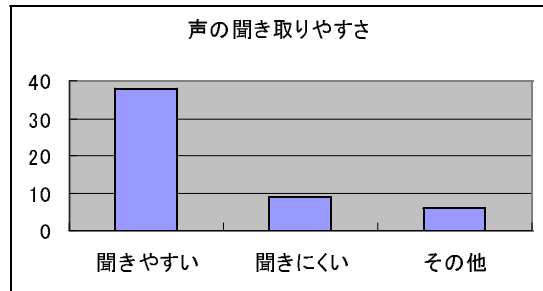
■板書の見やすさはどうでしたか。

見やすい（43）、見にくい（5）、その他（5）



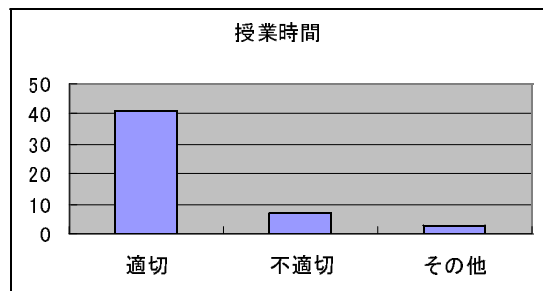
■声の聞き取りやすさはどうでしたか。

聞きやすい（38）、聞きにくい（9）、その他（6）



■授業時間はどうでしたか。

適切（41）、不適切（7）、その他（3）

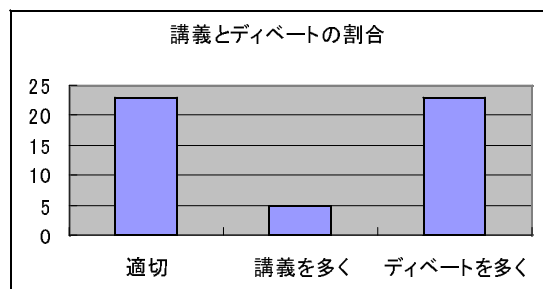
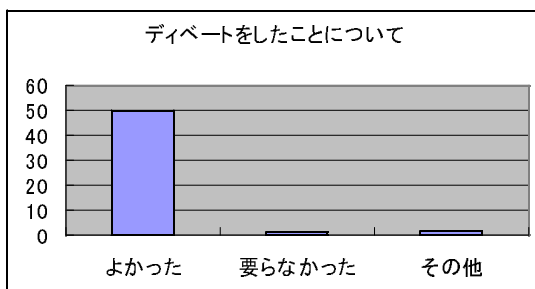


■ディベート形式を取ったことについてどう思いますか。

適切（50）、不適切（1）、その他（2）

■講義とディベートの割合はどうでしたか。

適切（23）、講義を増やすべき（5）、ディベートを増やすべき（23）

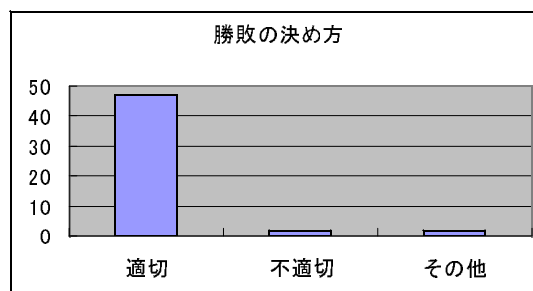


(感想)「聞きにくい」と答えた人の多くはディスカッション時の他の学生の声が小さいと言っています。どうやって彼らの声を大きくするか、今年の課題です。授業時間が「不適切」という声の中には「短すぎた」というものもありました。学生はけっして短い授業がいい授業と思っていないのです。前年度は「講義を増やせ」という声があったので去年度はそのようにしたのですが、今度は「ディベートを増やすべき」という声がかかなり多くなってきました。難しいところですが、とにかくディベート形式の授業に学生はおおむね満足してくれているようです。

(Ⅲ) 評価の仕方について

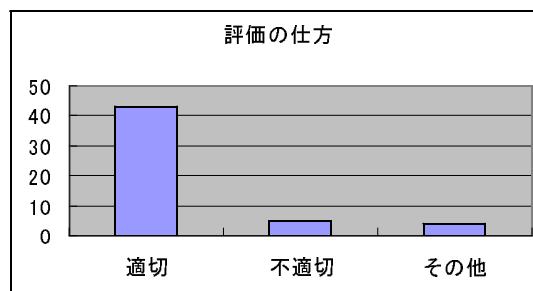
■ ディベートの勝敗の決め方

適切 (47)、不適切 (2)、その他 (2)



■ テストの評価 (採点) の仕方

適切 (43)、不適切 (5)、その他 (4)

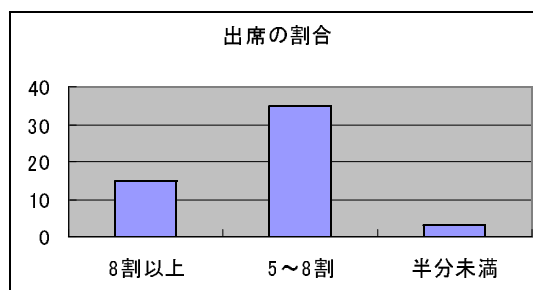
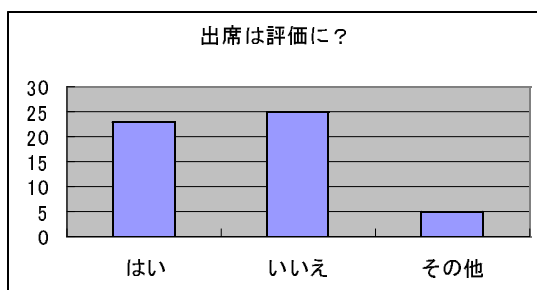


■ 出席は評価に入れた方がいいですか。

はい (23)、いいえ (25)、その他 (5)

■ 出席はどれくらいしましたか。

8割以上 (15)、5~8割 (35)、半分未満 (3)



(感想) 私の授業はディベートの勝敗もテストの評価も即座に学生に知らせるガラス張り方式なのですが、その評価方法に学生は合格点を与えてくれているようで、安心しました。出席点を評価に入れるかどうかは学生の考え方が相半ばしていますが、私は学生が授業に参加するのは当前の大前提だと思っているので「出席点」なるものは与えません。その代わり今年は前期にときどき小テストをしています。

(Ⅳ) この授業を評価すれば、次のどの評価になりますか。

A (21)、B (30)、C (5)、F (0) (2つ選んだ人がいました)

前年度よりもやや下がりました。前年度はAを3点、Bを2点、Cを1点として単純平均すると2.5でした。今年は2.3となっています。原因は何でしょうか。評価の理由について学生が書いてくれたものの中にヒントがあるかも知れません。いくつか紹介します。

- ・発表してそのままが評価になるので寝る人や来ない人が少なくなるし、来ている人はやる気のある人ばかりだった。
- ・ディスカッションのテーマが大まかなので互いの意見が理解しにくい。
- ・初めのうちは手を上げるのが勇気がいり、恥ずかしがりにはちょっとつらい。
- ・前期、私語が多かった。
- ・授業時間が短く感じた。
- ・他の授業でもディベートを取り入れて欲しい。
- ・ディスカッションが楽しく、授業が他の教科より充実している。
- ・ただ聞くだけの受け身の授業ではないので楽しかった。
- ・ディベートのとき発表する人としらない人の差が激しく、一部異様なほど熱くなっている人がいて発表しづらかった。
- ・ディベートは楽しかったが、前期の授業内容に興味をもてなかった。

(感想) ディベートは楽しいけど講義が今一つという意見が多かったようです。今年もディベートと講義の割合は変えていません。少しは去年より興味のもてる講義内容にしているつもりですが……。授業中の私語は、去年に比べ今年は厳しく対処しています。私語は私も含めて他人の集中力を損なわせるものだと思いますから、その点で学生にも理解を求めています。また、遅刻、早退、授業中の席移動も同じ理由でやめてもらっています。

(V) あなたのこれからの人生にこの授業はどんな関わりを持つでしょうか。

- ・相手の意見に腹を立てず冷静にその意見にも耳を貸す必要があると分かった。
- ・言葉遣いや自分の言いたいことを自分の頭でまとめる訓練になった。
- ・いろんな視点から考えることを習った。
- ・ディベートのテーマについて書いてあるときなど新聞に関心を持って読むようになった。
- ・授業を通じてある程度自己主張できるようになった。
- ・人前で発表するとき、いかに簡潔に文をまとめて発表するかを学んだ。
- ・反対意見を持つ人に対して自分の意見を言う大切さを知り、説得力がついた。
- ・賛成と思っていても反対の意見を言わなければいけなかったことで、自分の意見と反対の意見にも耳を傾けられるようになった。
- ・自分の中で何気なく当たり前と思っていたことを考え直し、見つめ直せるようになった。
- ・自分の意見をしっかり言える、カッコいい人になろうと思わせてくれた。

(感想) この他にもいっぱいありました。私は皆さんの意見を参考に、新しい年度の新しい授業をやっています。どうもありがとうございました。